

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第295回

ウィル・スミス

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年2月21日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

人は自分にはできないことがあると、他の人も
できないと決めつけたがるものだ。

何かを求めるなら、つかみ取れ！

ウィラード・キャロル・スミス・ジュニアは、アメリカ合衆国の俳優、映画プロデューサー、ラッパー。ラッパーとしては「ザ・フレッシュ・プリンス」を名乗っていた。ジャンルを問わず出演作がメガヒットを放つ、アメリカを代表する「ドル箱俳優」のひとりである。身長 188cm。



Column

今回の言葉は、彼が出演した映画『幸せのちから』のセリフとして使われたものです。この言葉の前には『誰にもお前にできないことがあるなんて言わせるな。自分の夢は自分自身で守らなきゃならない。』という言葉があります。劇中に彼が演じたのは、実在の人物でもある主人公クリスです。クリスは事業に失敗してホームレスになるまでに落ちぶれ、妻にも愛想を尽かされてしまいました。そして幼稚園児の息子と2人で路頭に迷うのですが、「バスケットボールの選手になりたい」と言った息子に、クリスは「諦めろ」と突き放してしまうのです。しかし、その直後にハッと思い出したように息子の背中を押すべく発したのがこのセリフでした。

今回の言葉を発したシーンと主人公クリスの心情を考えた時に、このコラムで時々述べている“ドリームキラー”の存在を思い出しました。そして、言葉の中にある『自分にできないことがあると他の人もできないと決めつける』という部分も確かにあると思いますが、『他の人ができてしまうのが怖い（嫌だ）』ということなのだとも思いました。自分にできないことが他の人にもできなかったことで安心するという考え方です。クリスは父として息子が自分を超越していくことに対して最初は『まだ』と思ったのでしょうか。しかし、すぐに『今すぐにでも超えていけ！』と思い直したということです。そして子供の夢に自分が成し遂げられなかった“想い”を乗せたのではないのでしょうか。

今回は、言葉そのものを単純に“カッコいい”とも感じましたが、一瞬は「諦めろ」と突き放してしまいたくなるような状況下にある“大人の事情”に負けてしまったものの、父親としての息子に対する想いが勝ったことや、違うと思えば意地を張らずにすぐに前言撤回できる“潔さ”を感じました。その姿勢は父としても人としても“カッコいい！”と思います。そして、まだ幼い息子の抱いた夢によって自分自身もドリームキラーに勝利し、息子に対するドリームキラーになることも避けられたという“息子によって目覚めた父”という印象を持ちました。その事に気づいたからこそクリスはすぐに前言撤回し、息子に夢に向かって突き進むことを勧めたのでしょうか。人の夢を応援することは誰にでもできますが、邪魔することは誰にも許されません。正智深谷高校はみなさんの抱く大きな夢を応援しています！